

——日本人の「多様性」は社会の活力につながりますか  
 前川 これからは多様性の価値観を若者に教育していかないといけないと思います。「1億総中流」と言われますが、中流の中にもいろんな中流がないといけない。格差社会を肯定はしません、格差が固定される前に、中流を多様化しないといけません。  
 ——多様であることで格差の固定化は防げますか  
 前川 今のままでは中流に入れない人の行き場がありません。入れなければ、ホームレスになるしかない。それではいけないので、いろんな中流を用意しておく必要があります。  
 ——関西は多様ですが、梅田北ヤードの再開発は大阪中心に偏りすぎている  
 前川 北ヤードの計画は会社勤めしていたころには、財界の一員としてヨイショしたほうなんですよ。(土台とな

関西外国語大教授

前川洋一郎さん



北ヤード再開発は急ぎすぎ

る)青地図をかいたのですが、今は反省しています。少なくとも第2期計画は財界人も役人も、少し頭を冷やすべきではないでしょうか。  
 ——というのは

前川 北ヤードはWTC(大阪ワールドトレードセンタービルディング)、五輪招致のための舞洲など3つの人工島に続く「三の舞」になりかねないからです。1000年先のことを考えたら、大阪駅

の北側はセントラルパークのような自然公園にするのが面白い。それか、全部空き地のまま置いておけばいいと思います。子孫に対して責任が持てるのか、と問われれば、急ぐことはない、と答えるでしょう。もっと市民、府民の意見を聞き、道州制の問題がはっきりしてから構想を練っても遅くない。  
 ——マスコミに対しての注文もありますよね

前川 マスコミに出てくる大阪というのは河内、たこ焼き、おばちゃんの3つです。とりあえずこの3つに単純化して終わっている。恥ずかしいですよ。  
 ——大型開発といえば、東京は五輪を誘致しようとして

前川 五輪は(1984年の)ロサンゼルス大会以降、商業主義になりましたね。スポーツ運営からビジネスに変

わり、アマチュア精神もなくなりました。そのおかしなところを五輪をわざわざ東京に呼ぶ必要があるのでしょうか。それに東京にはもう、ハコ物はいらないでしょう。実際、大きな競技場を作っても学校の運動会には使えませんが、しかも開催するところに石原(慎太郎)知事が職にとどまっているとはかきらないですし。

——関西学生陸上競技連盟の副会長もつとめています。スポーツも東京への一極集中が著しいですね  
 前川 おかしいですね。地方は選手育成工場になってしまっていて、中学、高校と有望選手を育てても、東京六大学や実業団が持って行ってしまっています。地方でも、運営は東京からのリモートコントロールで、地方は審判を出すことだけ求められる。スポーツこそ地方分権が進まないといけないですね。

(聞き手 南昇平)

